

PDF ファイル表示ソフトウェア

# rPDFViewer

Ver. 2.1.2

## 説明書



## 内容

rPDFViewer について .....	1
rPDFViewer の画面 .....	3
メニューとリモコンパッドの表示方法 .....	4
●メニューの表示 .....	4
●リモコンパッドの表示 .....	4
コンテンツ表示画面でのタッチ操作 .....	5
コンテンツ表示について .....	6
●PDF のページ数取得について .....	6
●PDF のスクロールバーの操作などについて .....	6
●2 倍拡大表示について .....	7
●2 倍拡大時の表示領域 .....	8
●表示レイアウトについて .....	9
●レジューム登録について .....	9
操作一覧 .....	10
●リモコン操作 .....	10
●リモコンパッド操作 .....	11
●レジューム画面のメニュー操作 .....	12
●フォルダー画面のメニュー操作 .....	12
●コンテンツ表示画面のメニュー操作 .....	13
設定ダイアログ .....	14
補足 .....	16
●rPDFViewer をリモコンで起動する方法 .....	16

# rPDFViewer について

rPDFViewer は、シンプルな PDF ファイル表示ソフトウェアです。

Ver.2.0.0 では、画像ファイルの表示にも対応しました。一つのフォルダに含まれる複数の画像ファイルを、1つの文書のように表示することができます(1つの画像ファイルを1ページとみなします)。BMP、JPEG、PNG、GIF、TIFF ファイルに対応しています(但しこれらの形式であっても、エンコード方式やフォーマットによっては表示できない場合があります)。

このプログラムは、Windows 7, 8, 8.1, 10 上で動作します。

同じ r シリーズソフトウェアであるメディアプレイヤー「rMPlayer」と同様、ルートアール社の PC 用リモコン (RW-PCM37BK) に対応しています。画面構成や操作方法も、rMPlayer と似た形になっています。



ルートアール社 RW-PCM37BK

メイン画面をファイル選択用のリスト表示にしているので、テレビに PC を繋いでいる場合のように画面から離れていても楽に操作できます。もちろん、ページ送りなどの操作もリモコンで可能です。

タッチ操作にも対応しており、タブレットでも便利に使用できます。タッチ操作用のリモコンパッドは、リモコンのボタンに合わせてあります。ページ送りや拡大操作は、リモコンパッドを使用しなくても可能です。

最大 100 個まで登録できるレジューム機能も備えています。登録した文書のページを、レジューム画面のリストから選択して表示できます。同じ文書の異なるページも登録できます。

PDF ファイルの表示には、Adobe 社の Acrobat Reader の機能(AcroPDF.DLL)を利用しています。このため、別途 Acrobat Reader がインストールされていることが必要です(Reader DC または Reader 11)。 Acrobat Reader のダウンロードは、以下のサイトで可能です。(Reader 11 を推奨)

<https://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>

AcroPDF.DLL の利用についての Adobe 社の見解については、以下のサイトをご覧ください。

<https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/2566.html>

現時点で、Acrobat Reader はフルスクリーンモードでの見開き表示に対応していませんが、rPDFViewer では可能です。そもそも、このソフトウェアを開発しようと思ったきっかけは、Reader でフルスクリーンモードでの見開き表示ができなかったことと、タッチスクリーンでの操作が困難だったことでした。

AcroPDF.DLL の機能を公開されている Adobe 社に、大きな感謝と、同じぐらい大きな疑念を捧げます。(何故「疑念」なのかは、この文書を一通り読んでいただければ解ると思います。)

#### 疑念①

AcroPDF.DLL では、PDF ファイルのみを表示し、ツールウィンドウなどを表示しないような指定ができません。なぜ？

AcroPDF.DLL で PDF ファイルを表示しようとする、ツールウィンドウなども同時に表示されます。rPDFViewer としては、ツールウィンドウなどは邪魔なので、かなり泥臭い方法で消しています。

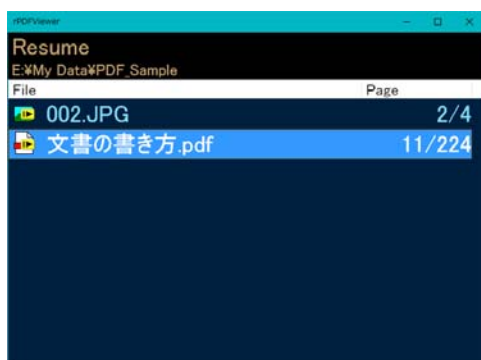
「Reader 11 を推奨」と前述しましたが、DC より 11 の方がツールウィンドウなどを消す際の画面のちらつきが少ないのが理由です。

## rPDFViewer の画面

rPDFViewer は、レジューム画面、フォルダー画面、コンテンツ表示画面の3つの画面を切り替えて使います。

レジューム画面	最大 100 個のレジューム登録されたファイルのリストを表示します。
フォルダー画面	PC のフォルダーの内容を表示します。表示されるのは、PDF と対象画像のファイル、およびサブフォルダーです。
コンテンツ表示画面	PDF または画像ファイルを表示している時の画面です。

rPDFViewer の起動時は、レジューム登録されたファイルが存在する場合はレジューム画面になります。存在しない場合はフォルダー画面になります。



レジューム画面の例



フォルダー画面の例

レジューム画面やフォルダー画面のリストの左端に表示されるアイコンには、以下のようなものがあります。

	ドライブを表します。 フォルダー画面の最上位で表示されます。
	サブフォルダーを表します。
	PDF ファイルを表します。 レジューム登録されていない状態です。
	レジューム登録された PDF ファイルを表します。
	レジューム登録された PDF ファイルですが、ファイル本体が見つからないことを表します。
	画像ファイルを表します。 レジューム登録されていない状態です。
	レジューム登録された画像ファイルを表します。
	レジューム登録された画像ファイルですが、ファイル本体が見つからないことを表します。

# メニューとリモコンパッドの表示方法

## ●メニューの表示

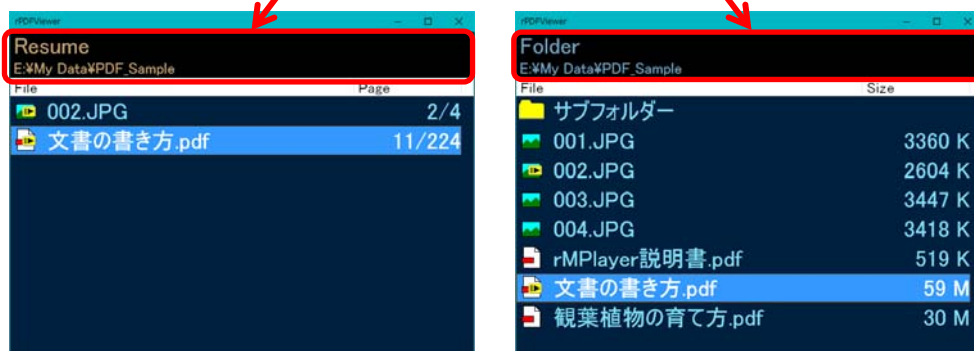
各画面で、マウスの右ボタンをクリックすることでメニューが表示されます。

## ●リモコンパッドの表示

タッチ操作用のリモコンパッドは、レジューム画面やフォルダー画面のリスト以外の場所をタッチすると表示されます。コンテンツ表示画面では、画面右上をタッチすると表示されます。もう一度タッチするか、リモコンパッドの右上のクローズボタンをタッチすると閉じます。

リモコンパッドの上中央のボタン(黒地に点々)をドラッグすると、リモコンパッドを移動できます。

ここをタッチして表示／非表示



ここをドラッグして移動

ここをタッチして表示／非表示

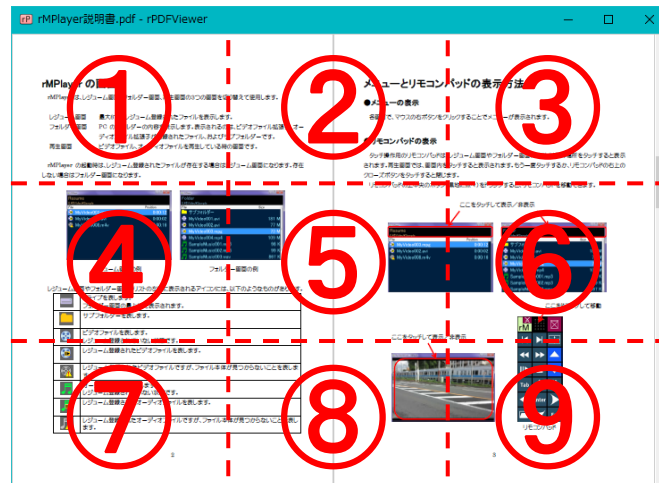


リモコンパッド

# コンテンツ表示画面でのタッチ操作

コンテンツ表示画面では、画面を縦横3分割した9個の領域に分けています。

各領域をタッチ(マウスのクリックでも可)すると、その領域に割り当てられた動作を行います。



領域	機能	リモコン
①	表示レイアウトの切り替え 「単一ページ」→「表紙あり見開き」→「表紙なし見開き」→（最初へ戻る）	Tab
②	拡大なし時: ページ戻り 2倍拡大時: 上の領域へ	▲
③	リモコンパッドの表示／非表示の切り替え	—
④	2倍拡大時: 左の領域へ	◀
⑤	「拡大なし」／「2倍拡大」の切り替え	Enter
⑥	2倍拡大時: 右の領域へ	▶
⑦	右綴じ／左綴じの切り替え(画像ファイルを見開き表示している場合のみ) PDFの表示では機能しません(PDFの場合、右綴じ／左綴じはPDFファイル自体が保持している属性であり、rPDFViewerからは変更できません)。	📁
⑧	拡大なし時: ページ送り 2倍拡大時: 下の領域へ	▼
⑨	(機能なし)	—

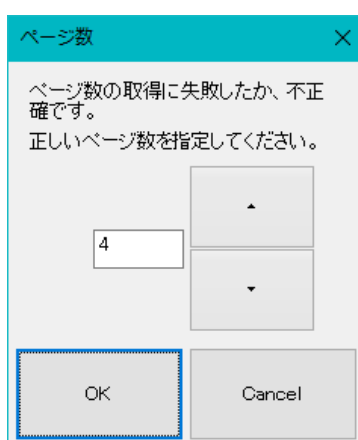
# コンテンツ表示について

## ●PDF のページ数取得について

### 疑念②

AcroPDF.DLL では、PDF ファイルのページ数を取得する機能が公開されていません。なぜ？

PDF ファイルの場合、AcroPDF.DLL からのページ数の取得ができないので、そのままではページ操作が困難です。このため、自前でページ数をカウントする機能を作成しましたが、PDF の規格に沿ったものではないため、完全ではありません (Ver.2.0.0 で、いくらか改善されました)。PDF ファイルのフォーマットバージョンによっては、ページ数取得に失敗することがあります。その場合、以下のようなダイアログを表示します。



別途、Adobe Reader などでもページ数を確認するなどして、ページ数を指定してください。

なお、レジューム登録されたファイルについてはページ数も記憶していますので、再度指定する必要はありません。

## ●PDF のスクロールバーの操作などについて

PDF の表示は、AcroPDF.DLL が管理するウィンドウで行われます。本来なら PDF 表示ウィンドウでのクリックなどの操作は、Adobe Reader としての動作 (オブジェクトの選択など) となります。しかし、それでは rPDFViewer としての操作ができませんので、PDF 表示ウィンドウの上に透明なウィンドウを置くことで、操作をマスクしています。

PDF ファイルが複数ページの場合などで、現在の位置を示すスクロールバーが右端に表示されますが、このスクロールバーをマウスなどで操作することはできません。



## ●2倍拡大表示について

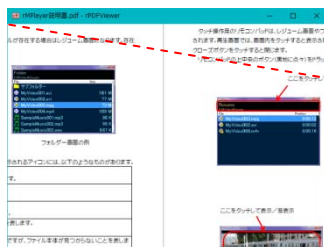
### 疑念③

AcroPDF.DLL では、PDF ファイルの表示サイズや解像度を取得する機能が公開されていません。なぜ？

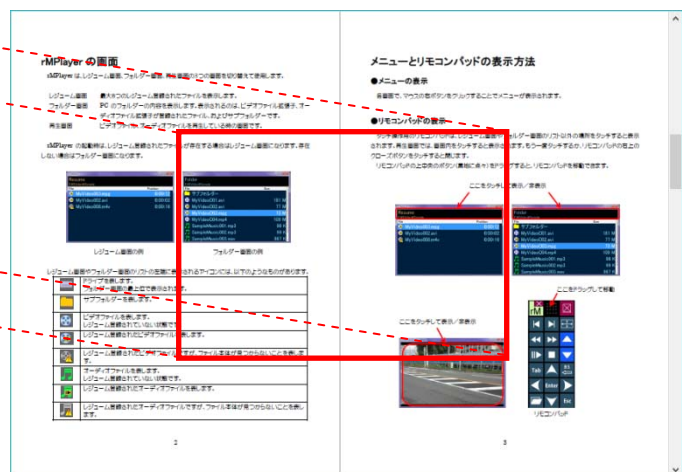
PDF の場合、AcroPDF.DLL からの表示サイズや解像度の取得ができないので、そのままでは拡大表示が困難です。拡大率を指定することは可能ですが、ウィンドウにフィットするサイズが 100%というわけではなく、基準になるサイズがわかりません。このため、実質的にはウィンドウサイズにフィットする指定だけが可能です。一時は拡大表示をあきらめていましたが、ややトリッキーな方法で実現することを思いつき、実装しています。

PDF の表示は、AcroPDF.DLL が管理するウィンドウで行われますが、これは rPDFViewer のウィンドウの子ウィンドウです。子ウィンドウのサイズを大きくしても、親ウィンドウのサイズでクリップされて表示されます。このことを利用して、子ウィンドウのサイズを親ウィンドウのサイズの縦横2倍とし、そのサイズにフィットする指定で表示すれば、2倍に拡大された表示となります。(拡大なしの場合は、子ウィンドウは親ウィンドウと同じサイズです。)また、親ウィンドウに対する子ウィンドウの位置を調整して、拡大表示する位置をコントロールできます。

rPDFViewer のウィンドウ



AcroPDF.DLL が管理するウィンドウ(2倍拡大時)

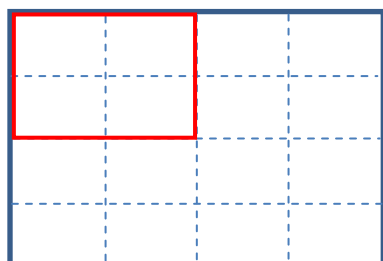


この方法の欠点は、スクロールバーの表示も同時に拡大され、表示する領域によっては表示されなかったり、一部しか表示されなかったりすることです。

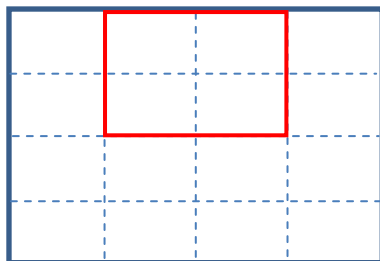
画像ファイルの場合、2倍拡大表示は別のやり方で行いますが、PDF の場合と同様の見た目になるようにしています。

## ●2倍拡大時の表示領域

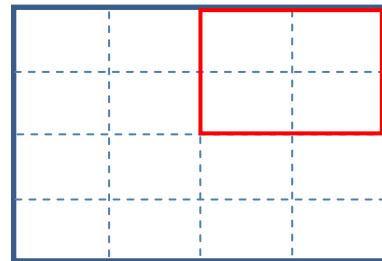
操作を簡単にするため、2倍拡大時に表示する領域を9つにしています。



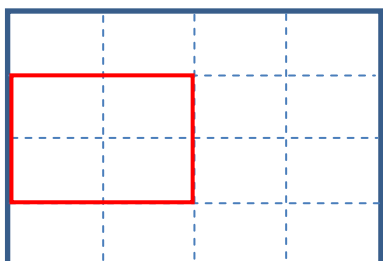
上段左



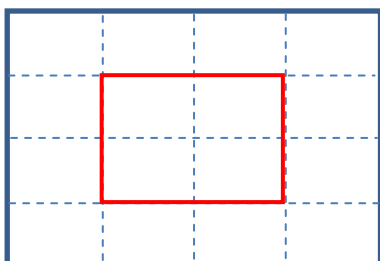
上段中



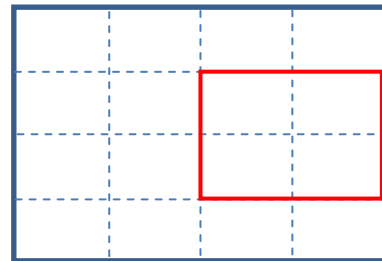
上段右



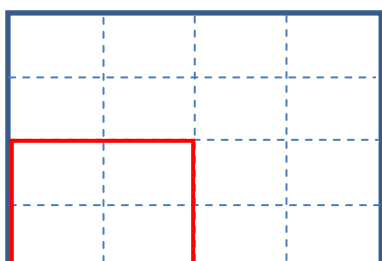
中段左



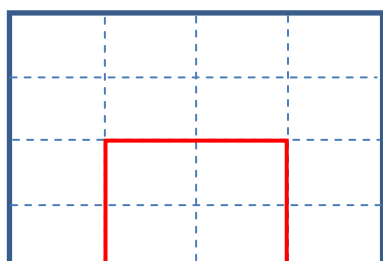
中段中



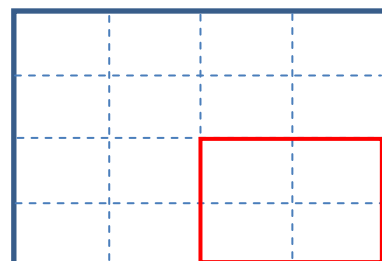
中段右



下段左



下段中



下段右

## ●表示レイアウトについて

### 疑念④

AcroPDF.DLL では、「見開きページ表示」(スクロールしない)を指定する機能が公開されていません。なぜ？

rPDFViewer では、「単一ページ」、「表紙あり見開き」、「表紙なし見開き」の3つのレイアウトから選択して表示できます。

PDF ファイルを rPDFViewer で見開き表示をした場合、後のページが下に一部表示されることがあります。これは、スクロール対応の見開き表示だからです。また、この場合全ページのうちの一番大きなページのサイズが基準となるため、サイズの異なるページがあると、必ずしもウィンドウにフィットした表示にはなりません。本当はスクロールしない見開き表示を指定したいのです (Adobe Reader では、もちろんそれができます) が、その機能が公開されていません。いろいろ試してみましたが、残念ながら実現する方法は見つかっていません。

## ●レジューム登録について

コンテンツ表示を終了する場合、レジューム登録に関連して3種類の方法があります。

- ・レジューム登録せずに終了
- ・レジューム登録に上書きして終了
- ・レジューム登録に追加して終了

レジュームに登録されていないファイルの場合は、上書きでも追加でも結果は同じです。

登録済みのファイルで、「上書き」を指定すると、開いた時の登録内容に上書きして登録します。「追加」を指定すると、開いた時の登録とは別に登録します。但し、すでに同じページが登録されていた場合は、その登録に上書きされます。(同じファイルの同じページは、複数登録できません。)

開いた時のページ a の他にページ b がすでに登録されていて、新たにページ b を「上書き」で登録した場合、結果としてページ a の登録はなくなり、新たなページ b の登録が残ります。

画像ファイルをレジューム登録した場合、実際にはファイル名のみが有効であり、ページ数／全ページ数の表示は参考情報です。登録後に同じフォルダに画像ファイルが追加されたり削除されたりした場合、ページ数／全ページ数が変わることになりますが、あくまでファイル名で識別されます。(一度表示すれば、ページ数／全ページ数はその時点のものに更新されます。)

Ver.2.1.0からは、画像ファイルに関して、レジューム画面でファイル名の代わりにフォルダー名を表示するオプションが追加されました。

# 操作一覧

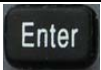



## ●リモコン操作

※リモコンのボタンのうち、音量調整ボタンなど OS レベルで対応するボタンについては説明を省略しています。


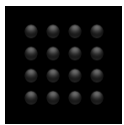

ボタン	レジューム画面	フォルダー画面	コンテンツ表示画面
	—		最初のページを表示
	—		最後のページを表示
	—	上位のフォルダーへ移動	スキップ戻り 設定ダイアログで設定されたページ数だけ戻る
	—		スキップ送り 設定ダイアログで設定されたページ数だけ送る
	選択したファイルの表示	サブフォルダーを選択している場合はそのサブフォルダーへ移動、それ以外は選択したファイルの表示	レジューム追加登録して閉じる
	—		レジューム上書き登録して閉じる
	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え		
	レジューム登録の取り消し		—
	リストのページアップ		ページ戻り
	リストのページダウン		ページ送り
	リストの前の項目		拡大なし時: ページ戻り 2倍拡大時: 上の領域へ
	リストの次の項目		拡大なし時: ページ送り 2倍拡大時: 下の領域へ
	—	上位のフォルダーへ移動	2倍拡大時: 左の領域へ
	—	—	2倍拡大時: 右の領域へ

(次のページに続く)

(前のページからの続き)

ボタン	レジューム画面	フォルダー画面	コンテンツ表示画面
	選択したファイルの表示	サブフォルダーを選択している場合はそのサブフォルダーへ移動、それ以外は選択したファイルの表示	拡大なし／2倍拡大 の切り替え
	選択を維持してフォルダー画面に切り替え	選択を維持してレジューム画面に切り替え	表示レイアウトの切り替え 「単一ページ」 → 「表紙あり見開き」 → 「表紙なし見開き」 → (最初へ戻る)
	選択を無視してフォルダー画面に切り替え	選択を無視してレジューム画面に切り替え	画像ファイルを見開き表示中、 右綴じ／左綴じを切り替え
	—	最上位フォルダー(ドライブ選択)へ移動	レジューム登録せずに閉じる

## ●リモコンパッド操作

ボタン	説明
	rPDFViewer の終了
	ドラッグしてリモコンパッドを移動
	リモコンパッドを閉じる

※その他のボタンについては、同じデザインのリモコンボタンと同じです。

## ●レジューム画面のメニュー操作

メニュー項目	ショートカット	説明
ファイルを開く	Enter	選択したファイルの表示
Folder 画面へ(選択継承)	Tab	選択を維持してフォルダー画面に切り替え
Folder 画面へ(選択無視)	Ctrl + O	選択を無視してフォルダー画面に切り替え
Resume 登録削除	Backspace	選択したファイルのレジューム登録の取り消し
Full Screen 切替	Ctrl + F	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え
設定 ...	—	設定ダイアログを表示
rPDFViewer について ...	—	rPDFViewer のバージョン表示
終了	Alt + F4	rPDFViewer の終了

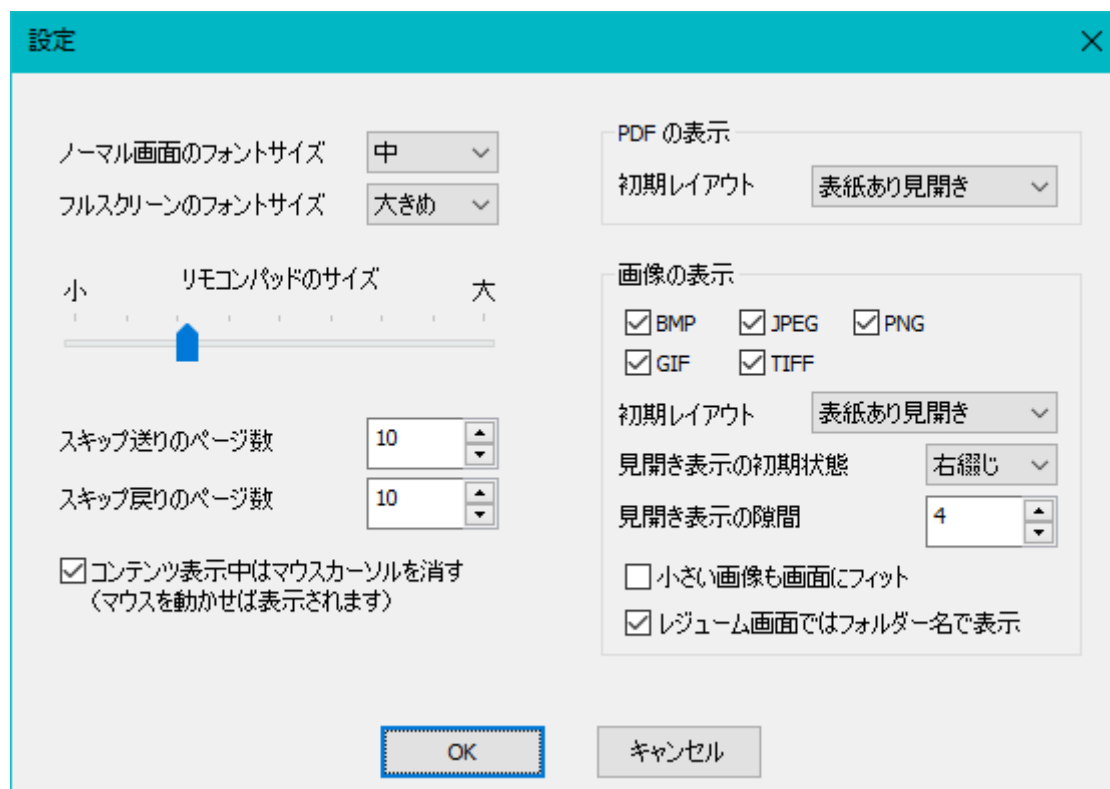
## ●フォルダー画面のメニュー操作

メニュー項目	ショートカット	説明
ファイルを開く	Enter	選択したファイルの表示 (サブフォルダー以外を選択している場合) ※複数のページがレジューム登録されている場合、一番若いページが開かれます。
Resume 画面へ(選択継承)	Tab	選択を維持してフォルダー画面に切り替え
Resume 画面へ(選択無視)	Ctrl + O	選択を無視してフォルダー画面に切り替え
Folder の展開	Enter	サブフォルダーへ移動 (サブフォルダーを選択している場合)
上位 Folder へ	←	上位のフォルダーへ移動
最上位 Folder へ	Esc	最上位フォルダー(ドライブ選択)へ移動
Resume 登録削除	Backspace	選択したファイルのレジューム登録の取り消し ※1つの PDF ファイルの複数のページがレジューム登録されている場合、その PDF ファイルの全ての登録が削除されます。
Full Screen 切替	Ctrl + F	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え
設定 ...	—	設定ダイアログを表示
rPDFViewer について ...	—	rPDFViewer のバージョン表示
終了	Alt + F4	rPDFViewer の終了

## ●コンテンツ表示画面のメニュー操作

メニュー項目	ショートカット	説明
Full Screen 切替	Ctrl + F	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え
Resume 登録せずに閉じる	Esc	レジューム登録せずに、コンテンツ表示の終了
Resume 上書きして閉じる	Ctrl + C	現在のページを登録に上書きして、コンテンツ表示の終了
Resume 追加して閉じる	Ctrl + S	現在のページをレジューム登録に追加して、コンテンツ表示の終了
次のページ	Page Down	次のページに移動
前のページ	Page Up	前のページに移動
スキップ送り	Ctrl + T	設定ダイアログで設定されたページ数だけ送る
スキップ戻り	Ctrl + R	設定ダイアログで設定されたページ数だけ戻る
先頭ページ	Ctrl + B	先頭ページに移動
最終ページ	Ctrl + E	最終ページに移動
レイアウト – 単一ページ 表紙あり見開き 表紙なし見開き	—	表示レイアウトの選択
画像の見開きモード – 右綴じ 左綴じ	Ctrl + O	画像ファイルを見開き表示中、右綴じ／左綴じを切り替え
拡大表示 – 拡大なし 2倍拡大 – 上段左 2倍拡大 – 上段中 2倍拡大 – 上段右 2倍拡大 – 中段左 2倍拡大 – 中段中 2倍拡大 – 中段右 2倍拡大 – 下段左 2倍拡大 – 下段中 2倍拡大 – 下段右	0 7 8 9 4 5 6 1 2 3	拡大表示の選択
終了	Alt + F4	rPDFViewer の終了

# 設定ダイアログ



## ■ノーマル画面のフォントサイズ／フルスクリーンのフォントサイズ

レジューム画面やフォルダー画面のフォントサイズを選択します。

ノーマル画面（通常ウィンドウ）と、フルスクリーンのフォントサイズを個別に選択できます。

## ■リモコンパッドのサイズ

リモコンパッドのサイズを指定します。

リモコンパッドを表示した状態であれば、スライダーの移動に連動してサイズが変わります。

## ■スキップ送りのページ数／スキップ戻りのページ数

スキップ送り、スキップ戻りのページ数を設定します。

## ■コンテンツ表示中はマウスカーソルを消す

PDF や画像ファイルの表示中に、マウスカーソルを消すか否かを選択します。

「消す」を選択した場合でも、マウスを動かせば表示されます。



## ■PDF の表示 – 初期レイアウト

レジューム登録されていないPDF ファイルを表示する場合の、初期レイアウトを選択します。「単一ページ」、「表紙あり見開き」、「表紙なし見開き」から選択できます。

実際には、PDF ファイルが1ページだけの場合は、設定に関係なく「単一ページ」で表示されます。また、2ページの場合で、「表紙あり見開き」が設定されている場合、「表紙なし見開き」で表示されます。

レジューム登録されたファイルの場合は、登録時のレイアウトで表示されます。

## ■画像の表示 – 対象画像の選択

BMP、JPEG、PNG、GIF、TIFF のそれぞれについて、表示対象とするか否かを設定します。対象から外した場合、フォルダー画面に表示されません。

レジューム登録されている画像ファイルを対象外にした場合、そのレジューム登録が削除されますので注意してください(再度表示対象にしても、回復しません)。

## ■画像の表示 – 初期レイアウト

レジューム登録されていない画像ファイルを表示する場合の、初期レイアウトを選択します。「単一ページ」、「表紙あり見開き」、「表紙なし見開き」から選択できます。

実際には、フォルダの画像ファイルが1つだけの場合は、設定に関係なく「単一ページ」で表示されます。また、2つの場合で、「表紙あり見開き」が設定されている場合、「表紙なし見開き」で表示されます。

レジューム登録されたファイルの場合は、登録時のレイアウトで表示されます。

## ■画像の表示 – 見開き表示の初期状態

画像を見開き表示する場合、初期状態として右綴じ／左綴じのどちらにするかを指定します。

若い番号のページ(画像)が、右綴じでは右に表示され、左綴じでは左に表示されます。

## ■画像の表示 – 見開き表示の隙間

画像を見開き表示する場合の、画像間の隙間のサイズをピクセル単位で指定します。

0～30の範囲で指定できます。

## ■画像の表示 – 小さい画像も画面にフィット

画面より小さい画像を、拡大して画面にフィットさせるか、拡大せずに等倍(dot by dot)で表示するかを選択します。(画面より大きいサイズの画像は、画面にフィットするように縮小されて表示されます。)

## ■画像の表示 – レジューム画面ではフォルダー名で表示

レジューム画面で、画像ファイル名そのままを表示するか、画像ファイルが含まれるフォルダー名で表示するかを選択します。但し、画像ファイルがドライブのルートフォルダにある場合は、常に画像ファイル名そのままが表示されます。

# 補足

## ●rPDFViewer をリモコンで起動する方法

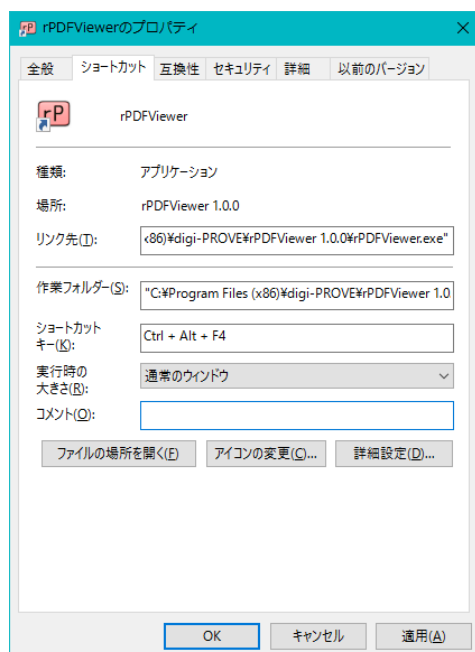
デスクトップの rPDFViewer アイコンのプロパティ設定を行うことにより、リモコンのアプリケーションボタンで rPDFViewer を起動できるようになります。



このボタンで rPDFViewer を起動させる



デスクトップの rPDFViewer アイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を実行します。



「ショートカット」タブを選択し、「ショートカットキー」の欄をクリックします。リモコンの D ボタン(上の図の黄色のボタン)を押すと、「Ctrl+Alt+F4」が入力されます(キーボードで入力することも可能です)。

プロパティのダイアログを「OK」で閉じて登録完了です。

# 奥付

2016 年 6 月 26 日発行(Ver.1.0.0)

2017 年 1 月 6 日(Ver.1.0.1)

Windows の通知ウィンドウが表示された時に、rPDFViewer が操作不能になることがある不具合の修正。

2017 年 6 月 13 日(Ver.1.0.2)

リモコンパッドの「rPDFViewer の終了」ボタンのデザインが rMPlayer の流用だったのを修正。

2018 年 12 月 30 日(Ver.1.0.3)

AcroPDF.DLL が表示するツールウィンドウが消えないことがある不具合を修正。

2019 年 4 月 3 日(Ver.2.0.0)

画像ファイルの表示に対応。

ページ数カウント方法の改善。

PDF ファイルのパスに特殊文字が含まれる場合に、開けないことがある問題の対応。(PC のユーザー名に特殊文字が含まれる場合、やはり開けないことがあります。)

2020 年 1 月 4 日(Ver.2.1.0)

画像ファイルに関して、レジューム画面ではフォルダー名を表示するオプションを追加。

2020 年 9 月 22 日(Ver.2.1.1)

レジューム表示で、画像のフォルダーを表示する設定だと、フォルダー名でソートされていなかった不具合を修正。

2020 年 10 月 3 日(Ver.2.1.2)

インストーラで、デスクトップアイコンの属性がドラッグ&ドロップ対応でなかった不具合を修正。(プログラム本体の変更はありません。)

本書は、著作権法上の保護を受けています。

本書はフリーソフトの一部であり、digi-PROVE が作成したアーカイブの形態での複製、配布は自由に行うことができます。また、プログラムをインストールしたPC内部、およびそのバックアップ目的での記憶メディアへの保存に限り複製を行うことができます。以上の形態以外の形態では、本書の一部または全部について、digi-PROVE から文書による許諾を得ずに、いかなる方法によっても無断で複写、複製することは禁じられています。

Copyright© 2016 - 2020 digi-PROVE

メールアドレス: [digiprove@outlook.jp](mailto:digiprove@outlook.jp)